



福島県南相馬市立原町第二中学校 学校便り第 12 号 令和 5 年 3 月 2 日(木)  
発行者:校長 和田節子 TEL (0244)22-4188 E-mail: haramachi2-j@fcs.ed.jp

# からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 自ら行動し、経験に学ぶ生徒

## 感動的な卒業式にするために

中学校の卒業式は、人生の大きな節目です。義務教育が終わり、これからは自分の意思で進路を選んでいく人生が始まります。

式の中で、卒業生は、自分の選んだ進路へ旅立つ決意と希望、そして、お世話になった人達への感謝の気持ちを表します。1, 2 年生は、自分たちを導いてくれた先輩への敬意を表すとともに、伝統を受け継ぎ、よりよい校風をつくっていく姿勢を示します。全校生が卒業を祝い合い、喜び合っ、感動を共有し、心に残る卒業式をつくり上げてきましょう。



マスクの取り扱いについては、文部科学省の通知に従い、次のようにします。

- 1 卒業式の教育的意義を考慮し、生徒及び教職員は、式典全体を通じてマスクを着用せずに出席することを基本とします。ただし、国歌・校歌・式歌等については、マスクを着用して実施します。
- 2 来賓や保護者の皆様にはマスクを着用していただき、座席間に触れ合わない程度の距離を確保します。
- 3 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望する生徒もいます。また、健康上の理由によりマスクを着用できない場合などもあります。このように一人一人の置かれている状況が異なることから、学校ではマスクの着脱を強いることのないようにします。更に、マスクの着用の有無による、差別や偏見がないよう指導していきます。

「中学 3 年」は、幼なじみと呼べる最後の学齢であり、卒業後もクラス会や成人式などの基盤となる集団です。生涯にわたる絆を結び、思い出深い卒業式にしたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

## コントロールできることに集中する

東京オリンピックで銀メダルを獲得した、サーフィンの五十嵐カノア選手は、次のように話しています。「サーフィンは海との戦いでもあるし、プレッシャーやほかの選手との戦いでもある。自分がコントロールできることは準備しかない。」確かに、自然や対戦相手をコントロールすることはできませんが、自分の時間をコントロールすることはできます。

いよいよ明日は入試です。3 年生の皆さん、今の自分にできることは何でしょう？ もっと勉強しておけばよかったと悔やむこと？面接官はどんな人だろうと想像すること？落ちたらどうしようと不安に思うこと？・・・過ぎ去った過去や、まだ見ぬ相手、どうなるかわからない結果についてあれこれ考えても何も変わりません。今は、自分の力でコントロールできることに全力集中する時です。持ち物をそろえる、集合時刻を確認する、早く寝る・・・。健闘を祈ります。